

澄み切った空、天然空調 魅力

南カリフォルニアから
南加岐卓県人会100周年からの風



サンタマリアヴァレーに広がるブドウ畑。周辺には35のワイナリーがある

およそ20年前にカリフォルニア州セントラルコーストに移り住みました。当初は真夏なのに茶色一色の山や草原を見て、非常に乾燥した殺風景な感じを強く持ったのですが、20年近くも住んでいますと、まさに「住めば都」になりました。

燦燦（さんさん）と照りつける太陽の日差しにも焼け付くような暑さは全く感じられず、太平洋の海流の上を渡ってくる乾いた涼風が頬を撫（な）せて行き、汗など滅多にかくことがありません。また、冬季は海からの西風が内陸からの寒気を封じ込め、温暖な気候で雨季の始まりと共に、木々や草花が芽吹き始めます。クリスマス頃の頃には蛙（カエル）のにぎやかな鳴き声が至る所で聞こえ、お正月には菜の花や梅、桜の花が咲き揃（そろ）い、山々は緑の絨毯（じゅうたん）を敷き詰めたような最高の景色になります。

夏季の平均気温は24度で冬季は15度、シーズンを通じて10度以内の変化しかありません。こうした気候が一年を通して農作物の栽培を可能にしています。

カリフォルニア州には南北3千マイルに及ぶ大きくて長い水路が完成しており、所々に大きな人造湖や水力発電所を設けてロッキーマウンテンの麓で集めた水を有効にかつ余すことなくカリフォルニア州全土に供給しています。

年間雨量は僅（わずか）か330〜350ミリですが、この巨大な灌漑用水は州民3千余万人の生活を充実させ、ふんだんに照りつける陽光と併せて、豊かな農作物の大きな産地として、世界の食卓に新鮮な野菜や果物を届けています。

はるかに広がる大地、雲ひとつなく澄み切った青空に天然空調、それにマーケットに溢（あふ）れる安く新鮮な食べ物等々、一度訪れたらなかなか忘れられないパラダイス、カリフォルニアへ皆さん揃（そろ）ってお出かけください。（文・奥勇）



お・いさむ 1992年にサンタマリアへ移転して今日に至る。加州在住19年。

永く陶磁器の製造販売を手がけて来たが、7年前からは業界のアドバイザーとして後進国の技術育成にあたった。趣味は家庭菜園で、サンタマリアの溢れる陽光を浴びて、多彩な野菜作りに精を出す。瑞浪市出身、67歳。